

講義名	対)教養特講 (日本語表現へのいざないB)			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本授業は、日本語の「聴く力」と「話す力」をテーマとする授業内容である。初年次留学生に対し、大学の講義を受ける上で必要とされる日本語の「聴く力」と「話す力」を身につけることを目的としている。いわゆる、日本語のコミュニケーションにかかわるスキルである。日本語能力試験N2-N1レベルの学生を対象としている。また、本授業の日本語学習は、大学の講義におけるディスカッション、スピーチやプレゼンテーションにつながるものである。

到達目標

大学の講義を受ける上で必要な、日本語の聴く力を身につける
大学の講義を受ける上で必要な、日本語の話す力を身につける
ディスカッション、スピーチやプレゼンテーションに必要な日本語能力を身につける。

提出課題

担当教員により異なる。詳しくは担当教員の指示にしたがうこと。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

担当教員により異なる。詳しくは担当教員の指示にしたがうこと。

評価の基準

日本語の聴く力や話す力の習得をはかるものである。具体的な方法については、担当教員により異なるため、担当教員の指示にしたがうこと。

履修にあたっての注意・助言他

本授業の主題や到達目標などは、クラス間で共通であるが、講義の運営方法は担当教員により異なることに注意すること。

教科書

--	--	--	--	--

参考図書

.日本語総まとめ N2 聴解.	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	1760	9784872177923

その他

適宜、プリントや資料を配布する。

授業計画

授業は、おおよそ下記のような内容を含む。具体的な内容については担当教員により異なる。担当教員の指示にしたがうこと

1. 会話における発音や文法(1)
2. 会話における発音や文法(2)
3. 会話における発音や文法(3)
4. 会話のパターン(1)
5. 会話のパターン(2)
6. 会話のパターン(3)
7. さまざまなタイプの話(1)
8. さまざまなタイプの話(2)
9. さまざまなタイプの話(3)
10. さまざまな場面での話(1)
11. さまざまな場面での話(2)
12. さまざまな場面での話(3)
13. 会話の全体的な特徴(1)
14. 会話の全体的な特徴(2)
15. 会話の全体的な特徴(3) / 全体の総括

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

1回の授業につき48時間の自己学習が必要とされている。担当教員の指示に従って予習復習をすること。例えば、予習として、事前に配布されたプリントや資料について学習をする。復習として、授業中に覚えた語彙や文法を確認し習得する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の話す技能について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

コロナウイルスの感染状況により、オンラインやオンデマンドで対応する可能性もある。担当教員の指示にしたがうこと。